

## NHK 敗訴とNHKの目を剥く実態

JJ1SXA/池

2009年4月放送のNHKスペシャル「シリーズ JAPAN デビュー」の第1回「アジアの“一等国”」、この中で、台湾の先住民パイワン族の生活状況が「人間動物園」と表現され名誉を傷つけられたとして、同族や視聴者らがNHKに損害賠償を求めている。

1910年にロンドンで開催された日英博覧会で、日本側が女性の父親を含む台湾の先住民族パイワン族24人を民族衣装を着せて紹介したことを、NHKは「人間動物園だった」と放送した。

東京高裁・須藤裁判長は判決で、「人間動物園という言葉には、深刻な人種差別的意味合いがある」と指摘、「パイワン族が野蛮で劣った植民地の人間で、動物と同じように展示されたと放送した」として、NHKによる名誉毀損を認定した。(現在上告中)

以前の記事「偏向報道」で、NHKの偏向報道に触れましたが、12月3日の衆議院総務委員会で、日本維新の会の三宅博議員が、質問に立ったが、NHKの仰天の実態が暴露されました、先ず、放送法第4条・第15条・第81条の条文に照らし、ひどい偏向放送があることを指摘した。

反日集団作成の茶番劇「女性戦犯国際法廷」という番組を放送したが、番組内で昭和天皇を人道に対する罪で有罪と断定している、こんな内容の番組を公共放送たるNHKが放送するとは何事だと迫った。

また、反日団体の集会・デモ等のニュースは少人数でも大々的に放送するが、これに反し、皇室を大事にし国益を念頭に活動する団体の集会は大人数でも放送されたことは無い、偏向放送はひどすぎるとも。

外国人職員の比率に対する質問には、掌握していないとの回答だったが、中国人、韓国人も相当数いるようだ、それも中堅から上層部まで。

NHKの人件費について、海上保安庁との比較で、海上保安庁の全職員数は、12636人で、船舶の建造費等含む全予算は1732億円、NHKの全職員数は、10354人、人件費だけで1819億円だ、こんな不合理はあって良いのかと。

公務員・サラリーマンの平均年収は426万円、NHK職員の平均年収は1185万円、こんな高給をとって、見るに値しない番組を放送しているのはけしからん、放送などしなくて良いとも。

いやー驚きました、海上保安庁の全予算よりも多いNHKの人件費、公務員・サラリーマンの平均年収の約2.8倍のNHK職員の平均年収、それで、偏向報道、反日報道では、聴取料の不払い運動が起き、NHKを解体せよとの大合唱が起きているのは当然だと思う、従来から、偏向報道には困ったものだと思っていたが、それだけでは無く、こうまでひどいとは、一寸思いが至りませんでした。

(12,Dec,2013 記)